

2018年8月  
1145号

# 百葉

Manyoh

一冊の会 編集部

〒160-0015 東京都新宿区大京町5

(一冊の会研究室)

## 祝！赤松良子先生お誕生日会

～政治分野における男女共同参画推進法の制定の年に、さらなる発展を誓う～

8月24日は、一冊の会筆頭最高顧問であり均等法の産みの親、赤松良子先生の誕生日です！

一冊の会では、赤松先生の誕生日を過去12年間毎年お祝いしております。今年は「政治分野における男女共同参画推進法」が可決された、女性史において大変意義ある年です。そのような年に、一冊の会理事長でもある、石田尾崎行雄記念財団理事・事務局長のお力添えで憲政記念館会議室を会場としてお借りしてお祝い出来ました！

「赤松先生お誕生日おめでとうございます！」

大きな拍手の中お迎えしえた赤松先生は、真っ白なレースのカーディガンの下に夏の青空のような明るい青を基調とした花柄のブラウスをお召しになり、笑顔いっぱいでお入りされました。鬼童・佐藤両一冊の会広報親善大使を中心に誕生日の歌(Happy Birthday to You)を皆で歌い大歓迎！

本日89歳を迎えられた赤松先生は、穏やかな笑顔で終始私たちに温かく包んで下さいました。生涯を掛け女性の社会進出の為、そしてクオータ制の実現の為に活動されておられる赤松先生をお祝いしたいと、多くのメンバーが埼玉方面や、西日本に台風が近づく中関西方面からも駆け付けました。有識者の先生方も、時間を縫って駆けつけて下さいました。

### 婚約者・結婚者へバラの花の贈呈

毎年恒例となった、赤松先生から婚約者・結婚者への深紅のバラの贈呈。今年は、中本和伸さんと、鈴木(旧姓藤沢)まり子さんが結婚の報告をいたしました。2年前には鈴木まり子さんの娘さんがバラをいただいており、親子2代でお祝いをいただきました！2人とも幸せいっぴいな笑顔で、一同心からお祝いの拍手をいたしました。

### 櫻華塾生より赤松先生へ感謝の言葉

以前赤松先生より結婚のお祝いのバラをいただいたことがある3名の一冊の会研究員が、赤松先生へ感謝の発表をいたしました。以下、抜粋してご紹介いたします。

城杉研究員：女性の力と男性の総合的な能力は変わらない、しかし男女共に得意な分野があり、お互い支え合い補い合っていく相互関係を強めることにより日本が、世界をもっと発展させていく大きなパワーを生み出す事が出来ると、常々思っております。平和を語る人は、沢山おります。私は、論じるより、ささやかでもいい、平和を築く人を目指して参ります。赤松先生から頂きました輝く深紅のバラの様に、女性として生涯にわたり、仕事でも一冊の会の活動でも男性や他の女性の皆さまと手を取り合って、絆を大切に、皆で燦爛と輝き続けていきたいと思っております。常に国連の流れと共に今や54年間も歩み続けている一冊の会では、大槻会長から常に「認識から行動へ、行動から改革へ」と指導を受けています。大先輩方から学んだクオータ制の重要性の認識を、これからは語り部としてより多くの世代へと語り繋いでいく行動をして参ります。

山内研究員：結婚して約1年、最近大きなことがありました。妻の単身赴任が決まり、現在、東南アジアのタイとミャンマーの国境の街に今年の5月に赴任致しました。妻は途上国支援のNGOで働いており、ミャンマーいわゆるビルマで迫害された少数民族の難民キャンプで識字率向上のため、図書館の運営をしています。その難民の数は、100万



憲政記念館会議室の入口で記念撮影

人に及びます。幸いにも一冊の会の基本活動の1つでもある、識字推進と目的も同じです。妻の長年の夢であった、“途上国で働いて人の役に立つ”ということが、おかげさまでこの度ようやく実現する事が出来ました。これも一冊の会と出会い、赤松先生が女性の社会進出の基礎を築く為の挑戦の努力のお蔭です。今日の女性の地位向上の希望の光が開かれたと、感謝しております。これからも夫婦ともにそれぞれの使命を全うし、世界平和に貢献できるように精進して参ります。

赤田研究員：現在もなお、女性は様々な社会構造の困難にぶつかることが多いと思います。男女雇用機会均等法が成立した時、先生は「小さく産んで大きく育てよう」とおっしゃったと伺っております。法律を育てていくのは我々有権者の努力が必要だと思います。私も、赤松先生が築いてくださったバトンを受け継ぎ、先生のような一生輝く素晴らしい人材になれるよう日々努力して参ります。赤松先生は、最初は満足な法案とはいかなくてもまず、世に出すこと。醜いアヒルの子と言われようが、皆の力で見事な白鳥に変身させる事を、願っていると思います。私達もこの目標に向かって、研鑽して参ります。

### 一冊の会 会員より赤松先生へお祝い記念品贈呈

メンバーを代表し、大槻由美さんから会津塗りの文箱を、新婚の中本和伸さんから同じく会津塗りのティッシュボックスを贈呈致しました。大槻由美さんは、来月のFAWA(アジア太平洋女性連盟)の総会で発表する「カンントリーレポート」を得意の英語で作成する一方で、外資の会社で大活躍中です。続いて、今年「書」で中国大使館賞を受賞した平間研究員から果物を贈呈いたしました。赤松先生は写真のとおり笑顔で喜んで下さいました。



大槻由美さんから



中本和伸さんから



平間研究員から

### 来賓の方からお祝いの言葉

神本美恵子参議院議員は、九州にお仕事で主張されており、台風の影響で予定が遅延し帰京が叶わず、大変残念ながら本日の会には不参加となりましたが、祝電をくださいました。

高木美智代厚生労働副大臣・衆議院議員はご挨拶の中で、なんと本日初孫が生まれ、赤松先生と同じ8月24日産まれとなったという報告をされました！大ニュースに一同拍手をしました。

松本泰子先生(国際女性の地位協会)、安陪陽子先生(国連ウィメン日本協会前会長)からもご挨拶をいただきました。その間に、福島瑞穂社会民主党副党首・参議院議員がちょうど到着され、駆けつけてすぐにご挨拶いただきました。国会閉会中ですが、男女共同参画推進法に関わり日々活動していらっしゃるとのことです。

### 祝賀演奏

幼少期から世界中のコンクールで受賞されている橘和美優さんより祝賀演奏のプレゼント。本日、赤松先生にお認めいただきましたので、今月から一冊の会親善大使に任命されることが決定しました。また、おなじみ一冊の会親善大使のDON ALMAS(ドン・アルマス)より祝賀演奏のプレゼント。



### 赤松先生より

会の最後に、先生はお立ちになり「来年は90歳、それまでは大丈夫そうなので、また来年もここに来ます」とおっしゃってくださり、一同感激の拍手。「尾崎は95歳で亡くなりましたが、その前年まで現役でした。」と石田理事長。「先生!! お元気で! 来年もお待ちしております!」と一同。拍手に包まれた中、颯爽とお帰りになる先生をお見送り。最後は拍手の嵐となりました。

一冊の会の櫻華塾生は先生から多大な励ましとお力を頂いてまいりました。詳しくは万葉1126号「赤松良子先生と櫻華塾の歩み」でご紹介しております。今年も太陽のように燦と輝く笑顔の赤松先生と楽しい時間を過ごすことができ、明日への希望に満ちたお誕生会となりました。1年間の成長を赤松先生へ報告することができ、これからの1年間の目標を先生に誓った私たちは、来年の8月24日はさらに成長した姿をお見せできるよう、ますます研鑽してまいります!



文責：赤田研究員 城杉研究員